

一方、大学理事会は午後六時から「大学主権全立命人集会」なるものを開き、末川総長も参加。席上末川総長は、二二日の京大における「自主防衛」(いわゆる京大方式)を賞賛したあげく、「京大でやれたことが立命でやれんわけはない」などという喜劇的な言動を行ない、学友の非難を浴びる。末川先生が学生からやじられるなどとは立命では考えられないことだった。なお、この集会参加者に対しては、五者共闘の申し入れに応じて、布団・むしろ・薪・握り飯等が提供される。

民青の愚謀以後、バリケード前では、実力解除に反対する学友が、ついで理事会・代々木の動きを見守った。本部占拠は、強化されたバリケードとともにこの、たき火組によって維持される。

【資料】①

闘争宣言

JIF 闘争委員会

日共民青の闘争環境に抗し、寮闘争支援総長選挙を断固として勝取ることここに宣言する。法学部の凡ての学友は団結して闘おうではないか。

昨年の民青全学連大会におけるトロッキストに対する武闘方針に基づき二二日の蜜行は、彼らが日々掲げる民主主義が如何なるものであったかを明らかにした。それは彼らによる全学支配であり、米帝國主義者が世界の警察たらんと欲していると同時に、自らが立命館に於ける学内警察にならんと意図する意外の何ものでもない。彼らは立命館民主主義の形骸化を叫びながら裏ではその形骸化した立命館民主主義を利用し、少数意見の圧殺と弾圧を正当化せんとしているのだ。今、彼らは全学友の前に告発された。だが彼らは真実を隠蔽し、中川会館封鎖という現象面をのみ強調して学友の目をごまかそうとしているのだ。あのバリケードが導き出したものは、彼ら民青学友会の真意を意味する既に崩壊した立命館民主主義の内実であり、一般学生の自覚であった。

我々は、昨年の新聞社事件以来の学友会・学校当局の行動を断固糾弾する。

そして現時点での試験強行には断固反対！

闘争スローガン

- ・寮闘争支援、理事会団交支援！
- ・日共民青の暴力的封鎖解除弾劾！
- ・総長選挙！
- ・学校当局の収拾策動(試験強行)粉砕！

次ぎに、教授会の動きをみてみよう。

一月二三日、産社教授会懇談会

この日に限って発言内容が項目別になっているにすぎない。

- ①試験は規定方針通り実施してはしかった。
 - ②中止延期は事態を容認しているのか。
 - ③封鎖解除の方向で資料提供までしておきながら最後は反対に回ったではないか。
 - ④大学の決意・態度は如何。
 - ⑤寮問題に對し無責任ではないか。
 - ⑥学振費の待時間があった。真剣に考えていない。
- 野々尾 真田 細野 大谷 大橋 鈴木 岡 片山 小関 岡田

議長 理事会独自の行動及び集会の持ち方等について教授会で討議して欲しい。理事会の欠陥があれば、追及でなく補い合う努力目標とし、まとめて教授会の意向を学部長に届ける。各自の意見を述べる運営とする。

武並 教授会でまとめ、理事会で一定の方針を出し、学振費で崩れる。この繰り返しは困る。又学生側(学友会民青)の戦術の巧妙さと理事会の話し合う努力不足の姿勢が今日の悪条件を生み出して来た。

理事会は崩壊した。(過半数が既に辞任)立命崩壊の展望の中心にして置くべきだ。

富山 大学への不信と疑問。封鎖は先方、解除は当方の問題。解除出来ない限り不信は解けない。

天野教授理事の行動。理事会の行動。学部長の辞表—大学内の意見の対立。

これら事実不明のまま、封鎖解除だけは出来ない。真田 天野教授理事は辞表を出した。行動を明らかにしたい。理事会の逃亡ではない。その内容は発表できない。ただ何をしていたかは明らかにしておきたい。

大谷 質問に対し、重々と提示していくべきだ。明らかにすれば封鎖を解くことにならないか。現段階では総長選挙白紙撤回要求、八項目要求、以上を容認してもそれだけでは封鎖解除の要件にはならない。

富山 大学への不信が解けるものがあれば説明すべきだ。中川会館の中は考えなくてもよい。一般学生に直接伝えたらよいと考えている。公開の場で早急に出していく。

この意見が一致すれば産社教授会の意見を表示したいが。大谷 論理的には封鎖の解除が先だとしても拉大寮委員会で学生に会うことになっていた。

富山 公開の場で何故説明しないか。森 時間的な……。一週間前の時点なら通じる時期と思う。

奥田 内部より解除さすと今田学生課長等が動いていた。封鎖でもって要求貫徹は不可の声が学生の内部にもあった。理事会対応のまずさが今日の学生の不信を増大させた。

武並 筋道を大学当局が立てていないので見解の相違があるので公開説明を行なう。議長提案に賛成。

森 我々の把握を正確に行きたい。ノンセクトをどう把握するか。大学主催の集会参加の学生、その他の学生。

学生大衆の前に立つ姿勢が欠けている。

議長 採択の前に、教員全員の卒直な意見表明が不足であるので今暫く討議した後決断したい。公開説明は学生大衆の意見を聞くだけでなく、大学の事実見解を述べるだけで良いと考えている。

小関 五者共闘に依拠する立命集会であったと判断する。大衆団体の考え方はどうか。

議長 公開する団交をする。封鎖を解くとする大学の努力をする。小関 それは五者共闘との確認(一・一七学振費)に反する。大学側は経過説明だけを公開の場ですべきだ。

武並 入試と総長選挙改正とどちらかを選ぶべきだ。